

金 沢 大 学

資料館だより

第 1 号

平成 2 年 3 月 25 日 発行



所蔵品紹介

九谷花鳥文青手鉢

経 7.5cm

高 17.5cm

曉 烏 氏 寄 贈

(登録番号 24)

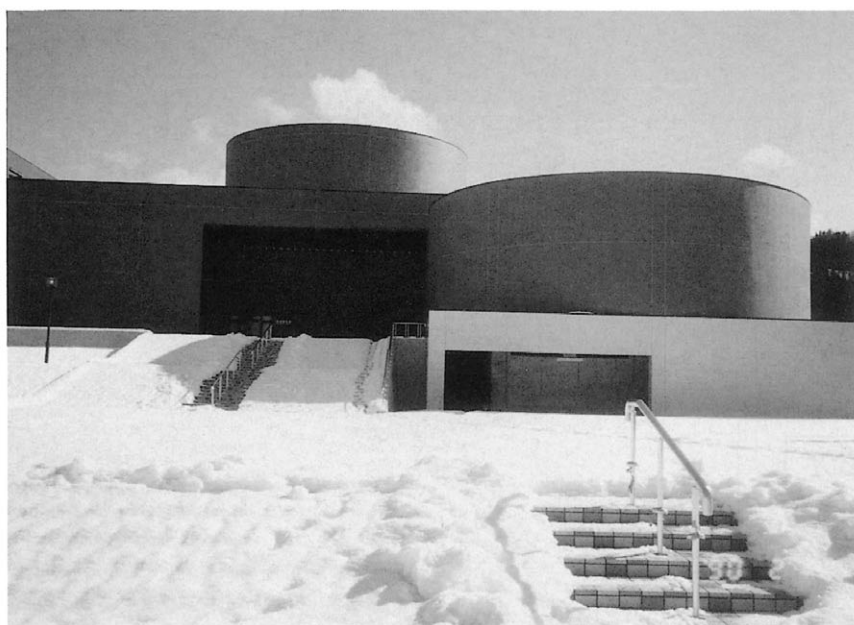
金 沢 大 学 資 料 館
The University Museum

金沢大学資料館 開館の辞

金沢大学学長 青 野 茂 行

ユニバーシティミュージアムという語がある。この言葉には、街の人々がそこに足を運ぶことに知的興奮を覚え、その存在を誇りとする、といった感じがある。収蔵品は、その大学の成立の所^{ゆえん}似、その町の発展の経緯などを明らかにしているに違いない。

金沢大学の資料館は図書館に併設されている。この館の設立には多くの人々の努力があった。それを促したものとして、金沢がもつ長い文化的な時間、そして金沢大学がよい意味での地方大学であることから、それらがこの大学に凝集しつつあることであろう。曉烏家から頂いた陶器の数々、三十間長屋に貯えてあった地域の遺産、旧制四高時代の教育的資料などが主な展示品となっている。これから年を経て、それに我々の努力が伴えば、この資料館はユニバーシティミュージアムに発展する潜在力をもつと信じている。



資料館遠景（右手円形ドーム）

資料館写真紹介：



資料館展示室入口



資料館展示室内部（各種企画展示、研究会、学会発表会場としても利用できる）

資料館写真紹介：



→ 収蔵品陳列状況



← 収蔵庫内収蔵棚



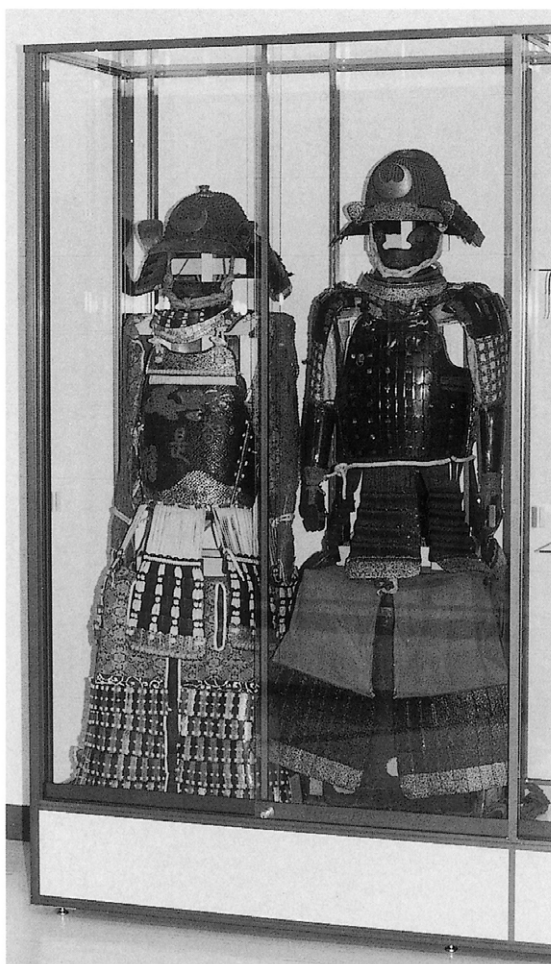
資料館写真紹介



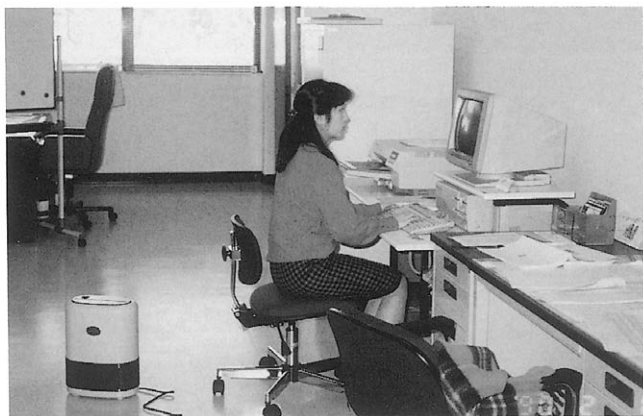
← 第二陳列室

→ 第二陳列室内収蔵品（甲冑）

↓ 第一収蔵庫の陳列棚



資料館写真紹介：



← 収藏品見学風景

↑
コンピュータに収藏品の資料を打ち込む



→ 収藏品見学風景

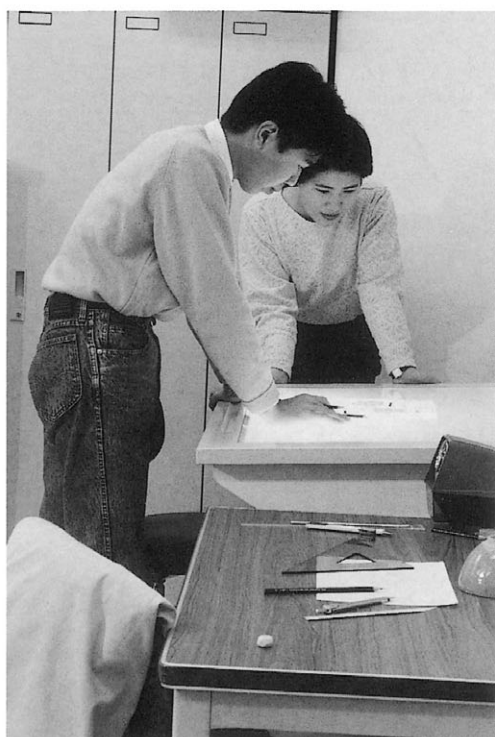
資料館写真紹介：



↑ 収蔵資料の解説風景



↑ 収蔵資料の研究討議風景



↓ 収蔵品の図面とり



↓ 土器資料の処理風景

「金沢大学資料館だより」発刊の辞

資料館長 貞末 堯 司

平成元年10月、角間新キャンパスに「金沢大学資料館」が開設されました。資料館の収蔵庫には、金沢大学が城内キャンパス内に所蔵していた歴史、美術、考古の分野の資料が収集されています。現在、鋭意、資料の目録作りを行っていますが、数多い資料の中でも、その圧巻は、暁烏敏氏が生前所蔵され、金沢大学が寄贈を受けた陶磁器類でありましょう。これらは、資料館内に収蔵展示されていますが、収蔵品の紹介、解説、研究成果や資料館自体の紹介、案内などを含めた連絡紙として「金沢大学資料館だより」を今回上梓することにしました。第1号は、学長の「資料館開館の辞」をいただいて、新キャンパスの資料館を主として写真によって紹介しましたが、毎年1、2回刊行し、広く収蔵資料の誌上公開を行っていきたいと考えております。

また、資料館には、第一、第二展示室がありますが、ここでは、企画展示が行えるよう設計されています。将来、さまざまな企画展示ができることを望んでいますが、第一展示室は、展示とともに研究発表、学術講演、談話会などの会場としても使用でき、多目的ホールとして大いに活用が期待されています。

今後、収蔵資料を一個一個綿密に整理し、目録作成は勿論ですが、正確な資料解説を作成し、広く利用できる資料を収蔵している資料館として「金沢大学資料館」が成長していくよう微力をつくしたいと考えています。何卒宜敷く御鞭撻の程お願い申し上げます。

金沢大学 資料館 彙報

〈金沢大学資料館設立までの経緯〉

○昭和61年7月 金沢大学の総合移転に関連して大学が所蔵する、歴史、美術、考古の分野にわたる資料をどのように移転後保存するかについて、資料館検討小委員会が移転実施特別委員会に設けられた。委員長に寺田喜久雄教授（理学部）が選任され、委員に文学部から4人、教育学部から1人、図書館長の計6名が任命された。

○昭和62年3月 資料館検討小委員会は、金沢大学資料館に関して、設立の目的、収蔵資料、組織などについて基本構想をまとめ提案し、了承を受けた。

○昭和63年1月 この基本構想をうけて、将来計画検討委員会に資料館設置準備委員会（以下設準委という）が置かれ、資料館の運営、収蔵資料、展示、活動、予算などについて具体的な審議を行った。設準委は、寺田喜久雄教授を委員長とし、各部局から1委員、及び付属図書館長、学生部長を加えた14名で構成された。設準委は、昭和63年3月から同年11月にその任務を完了するまでに7回開催され、角間新キャンパス内に設置される資料館の基礎をつくりあげた。この間、設準委に小委員会が設けられ、収蔵資料の選定、初度設備、事業内容について詳細な検討を行った。設準委は、昭和63年11月22日に資料館設置準備に関する報告書を提出し了承され、今後資料館は、「資料館運営委員会」によって運営されることとなった。

〈金沢大学資料館運営委員会〉

○平成1年5月 第1回資料館運営委員会（以下運営委という）が、本陣学長（当時）によって招集され、金沢大学資料館規定第5条によって、貞末堯司教授（文学部）が資料館長に任命された。

○平成元年6月 第2回運営委が開かれ、資料館運営費、備品、什器の選定配置、非常勤職員の雇用などの重要案件を決定した。

○平成元年7月 第3回運営委が開かれ、機種選定委員の選出、備品、什器の選定などが協議され、移転の日程について報告、了承された。資料館は、図書館の移転とほぼ時を同じくして、城内所蔵資料の搬入を完了した。

○平成2年1月 角間新キャンパスで第4回運営委が開催され、収蔵資料の配置、資料館サイン計画、運営費の執行、事業活動について協議され、討議の後了承された。

〈資料館事業〉

○暁烏記念行事が、来る4月27日（金）に図書館内で行われるが、これに関連して資料館収蔵の暁烏家寄贈陶磁器の一部を企画展示することになった。

金沢大学 資料館だより 〈第1号〉

発行日 平成2年3月25日

発行所 金沢大学資料館

〒920-11 金沢市角間町 Tel. 0762-64-5 2 1 5

印刷 株式会社 橋本 確文堂

〒921 金沢市増泉4-10-10 Tel. 0762-42-6121